

Magic 製品の Windows XP SP2 (正式版)動作確認レポート

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社
カスタマーサービス本部 開発部
2004年9月6日

はじめに

このドキュメントは、Magic 製品 (V9Plus, V9, V8 製品。以下 Magic と表記) による Windows XP SP2 (正式版) の動作確認テストの結果について記述したものです。

対象

OS バージョン:

- ・Microsoft Windows XP Professional バージョン 5.1.2600 Service Pack 2 ビルド 2600 (以下、XP SP2 と記します)

Magic 製品バージョン:

- ・dbMAGIC V8.2 (8.2K4SP2)
- ・Magic eBusiness Platform V9 (V9.3SP5c)
- ・Magic eBusiness Platform V9Plus (V9.4SP3)

動作環境

マシン: DELL Dimension 8250

CPU :Pentium4 2.40 GHz

メモリ:512MB

検証結果

以下のプログラムについて、ファイアウォールの設定を正しく行うことにより、XP SP2 以前と同様に動作することを確認いたしました。詳細については、各項目をご参照ください。

- ・Pervasive.SQL
- ・FlexLM
- ・Web サーバ
- ・Magic エンジンおよび Magic リクエストブローカ

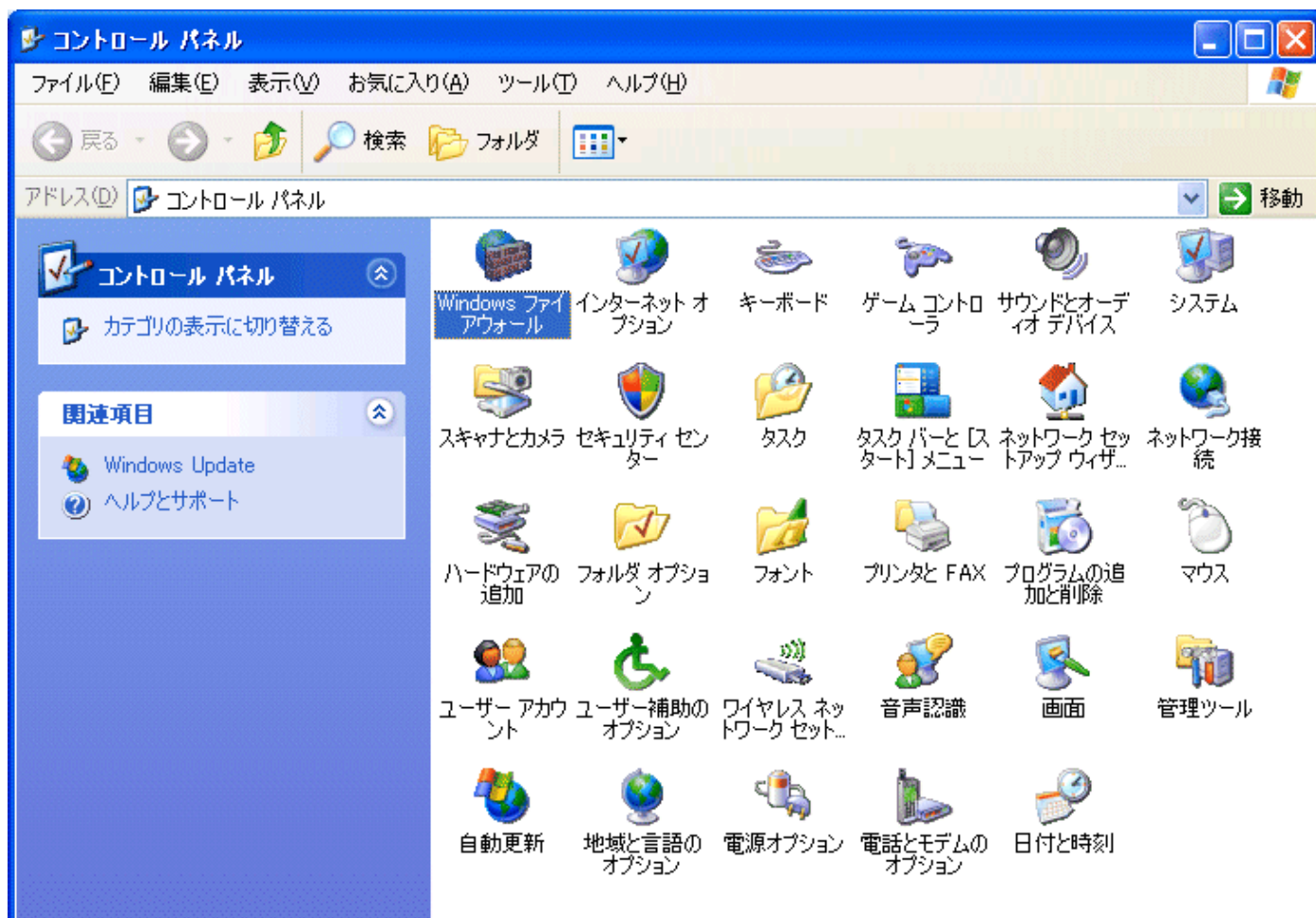
備考

- ・以前に XP SP2 RC2 版についてご報告いたしましたが、結果はそのときと同様です。
- ・Magic の動作は利用する DBMS に依存しますので、各 DBMS が XP SP2 上で動作が確認されていることが前提となります。ご利用になる DBMS の XP SP2 の対応状況については、各 DBMS メーカー様からの情報をご参照ください。

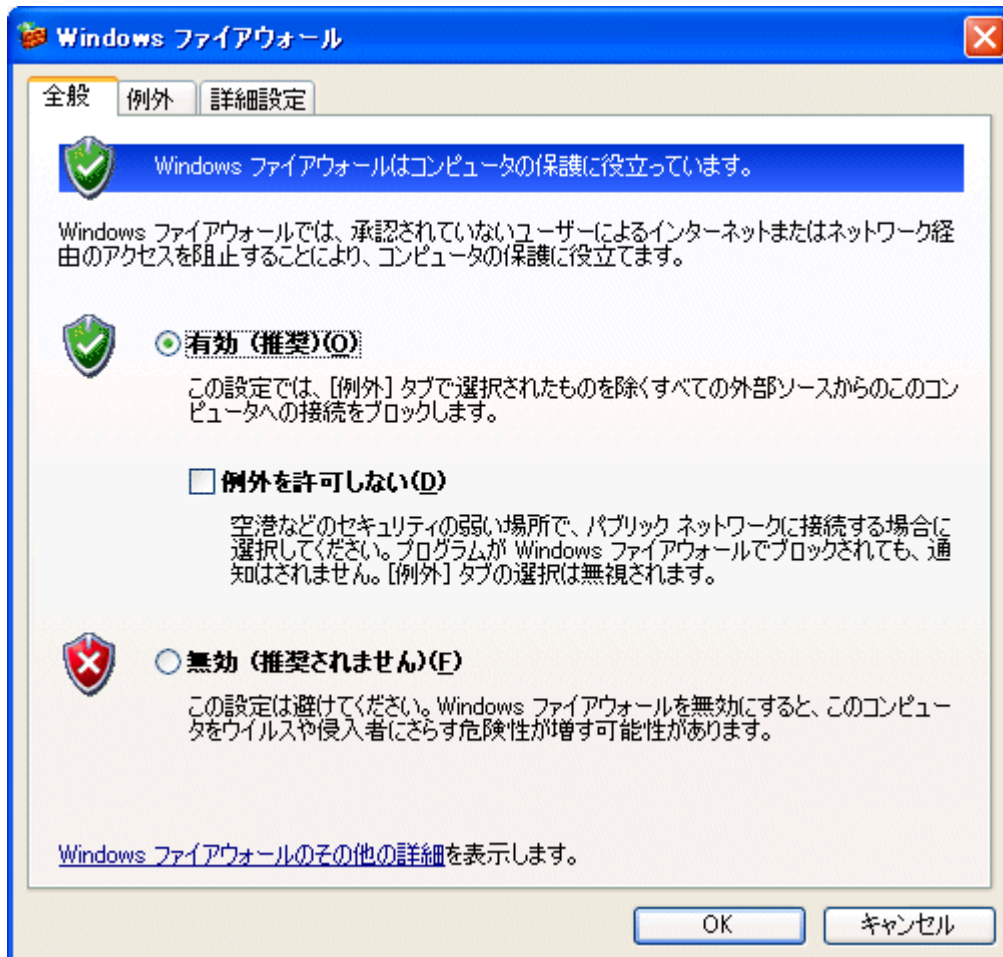
以上

ファイアウォールの設定

ファイアウォールの設定は、コントロールパネルから「Windows ファイアウォール」をダブルクリックして行います。



「Windows ファイアウォール」ダイアログが開きます。デフォルトでは、ファイアウォールは「有効」になっています。



Magic 関連のモジュールを外部のマシンからアクセスする場合には、「例外」タブに適切な設定を行う必要があります。

以下にその設定を説明していきます。

Pervasive.SQL

Pervasive.SQL のワークグループあるいはサーバエンジンの最初の起動時に次の画面が出ます。



これに対する対応は、このマシンにある Pervasive のファイルが他のマシンから共用されるか否かにより異なります。

- ・Pervasive のファイルを別のマシンからキャッシュエンジン経由でアクセスする場合や、複数のマシンからこのディスクにあるデータベースファイルを共有する場合は、「ブロックを解除する(U)」を押します。これにより、ファイアウォールの「例外」のプログラムとして「C:¥PVS¥Bin¥w3dbsmgr.exe」が自動的に登録されます。
- ・Pervasive ファイルを共用しない場合、すなわち、同一マシンの Magic からのみアクセスする場合には、「ブロックする」を押します。これにより、Pervasive.SQL のエンジンは、外部からのアクセスから守られます。

一度設定を行えば、以後は上の警告が出ないようにになります。

FlexLM (eDeveloper 製品(開発製品)では不要)

クライアント製品およびアプリケーションサーバ製品では、ライセンス管理に FlexLM ライセンスサーバを用います。

このマシンの FlexLM ライセンスサーバが、他のマシンから参照されることがない場合、すなわち、このマシン上の Magic だけから参照される場合には、FlexLM に関するファイアウォールの設定を行う必要はありません。

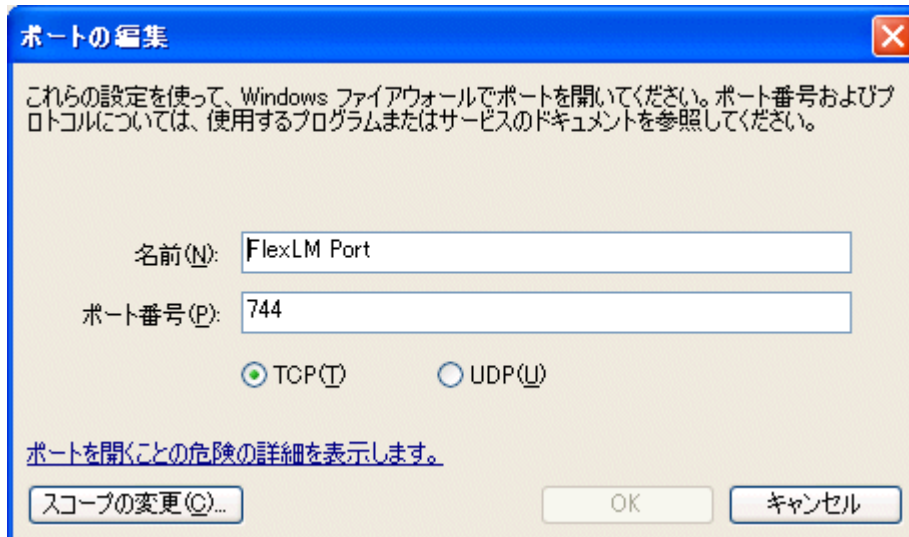
このマシンの FlexLM ライセンスサーバが、他のマシン上の Magic から参照される場合は、以下の手順により、「例外」リストに、

- ・ポート 744
- ・プログラム C:¥FlexLM¥LMG.EXE

を登録しておく必要があります。

(1) ポート 744 の登録

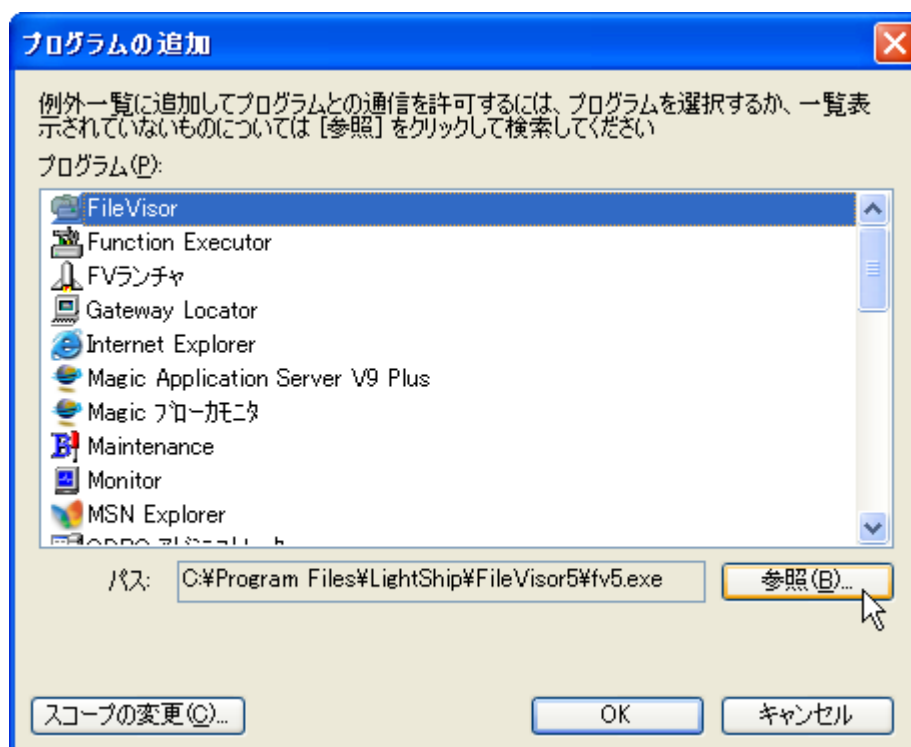
1. 「例外」タブを開きます。
2. 「ポートの追加」ボタンを押します。
3. 「ポートの追加」ダイアログが開くので、適当な名前（「FlexLM Port」など）と、ポート番号 744 とを指定します。ネットワークの種類は「TCP」です。



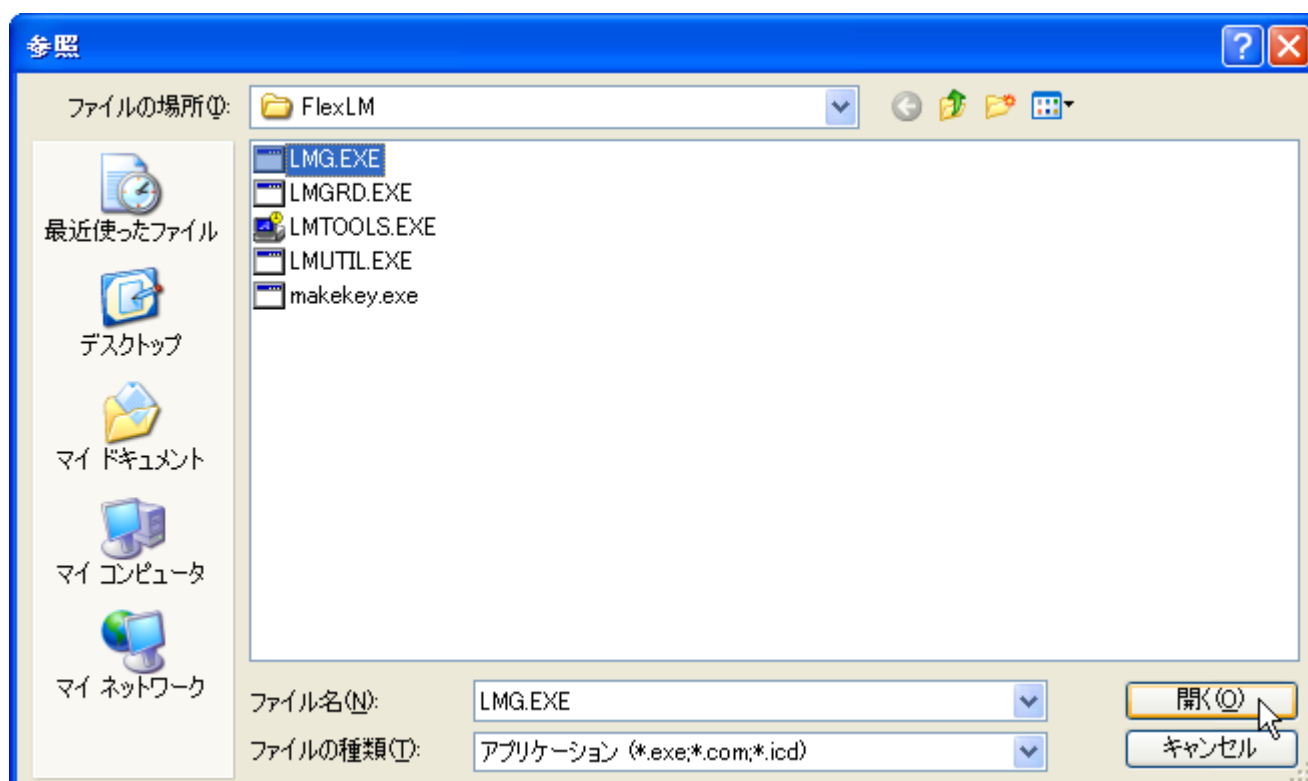
4. 「OK」ボタンを押せば、「例外」リストに「FlexLM Port」が追加されます。

(2) プログラム C:\FlexLM\LMG.EXE の登録

1. 「例外」タブから、「プログラムの追加」ボタンを押します。
2. 「プログラムの追加」ダイアログで、「参照(B)」を押します。



3. 「参照」ダイアログで、C:\FlexLM の下にある LMG.EXE を選び、「開く(O)」を押します。



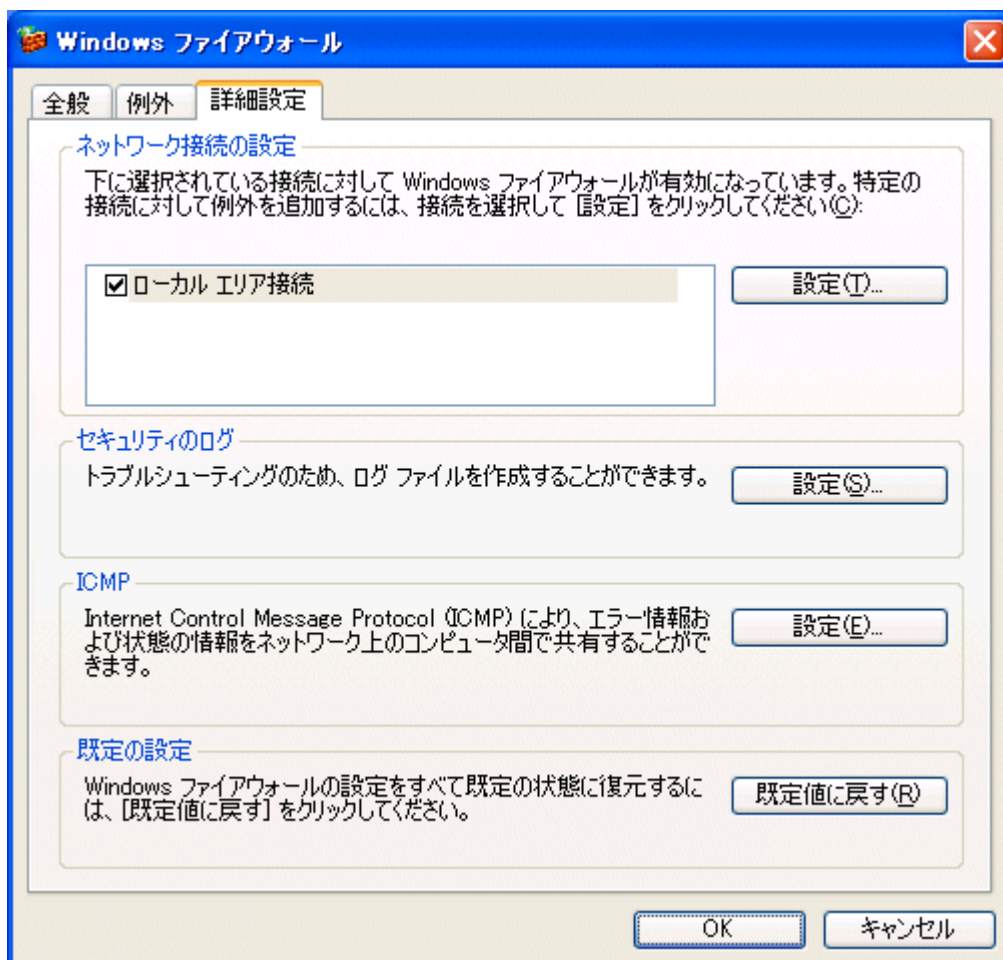
4. もう一度「OK」を押して、例外リストに戻ります。

以上で、FlexLM のポートとプログラムの登録ができました。

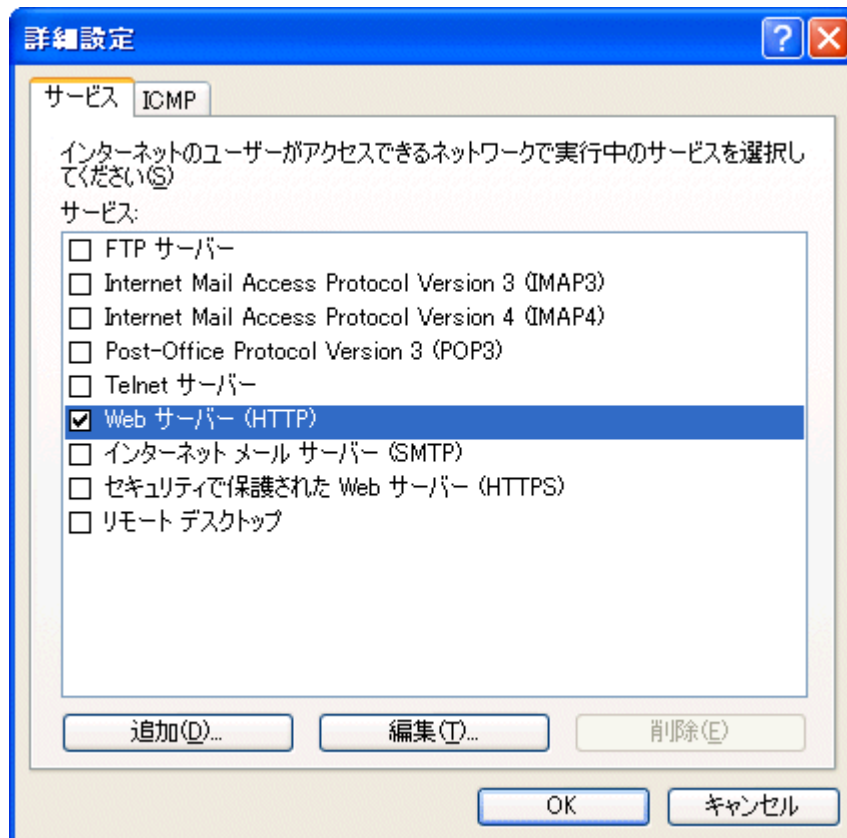
Web サーバ (Magic Client 製品(実行製品)では不要)

リモートマシンからローカルマシンの Web サーバの http サービスを利用する場合、「詳細設定」タブの「ネットワーク接続の設定」で Web サーバ(HTTP)を選択する必要があります。

1. 「詳細設定」タブを開きます。



2. 「ネットワーク接続の設定」の「設定(T)」ボタンを押すと、「詳細設定」ダイアログが現れるので、「Web サーバ (HTTP)」をチェックして、「OK」を押します。

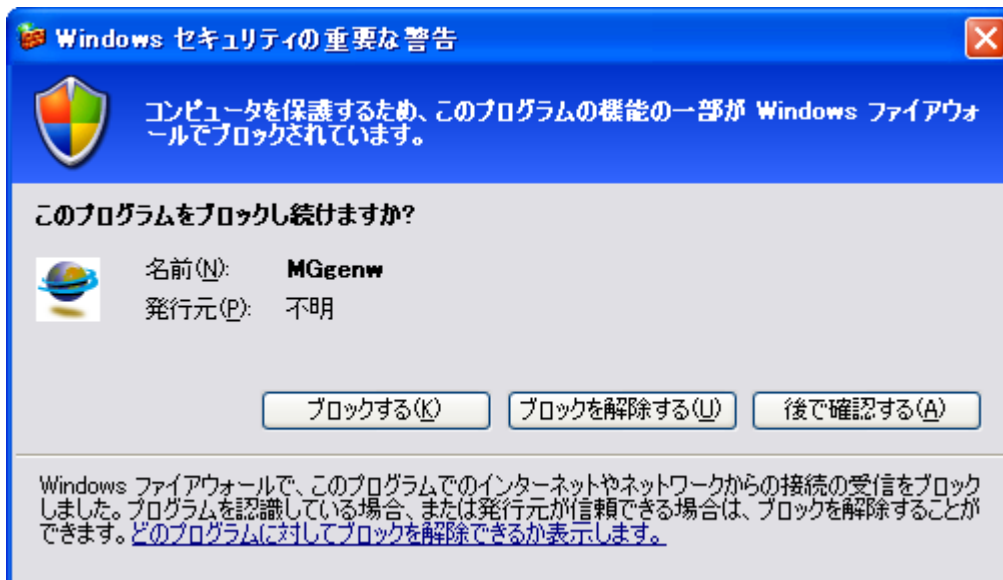


Magic エンジンおよび Magic リクエストブローカ

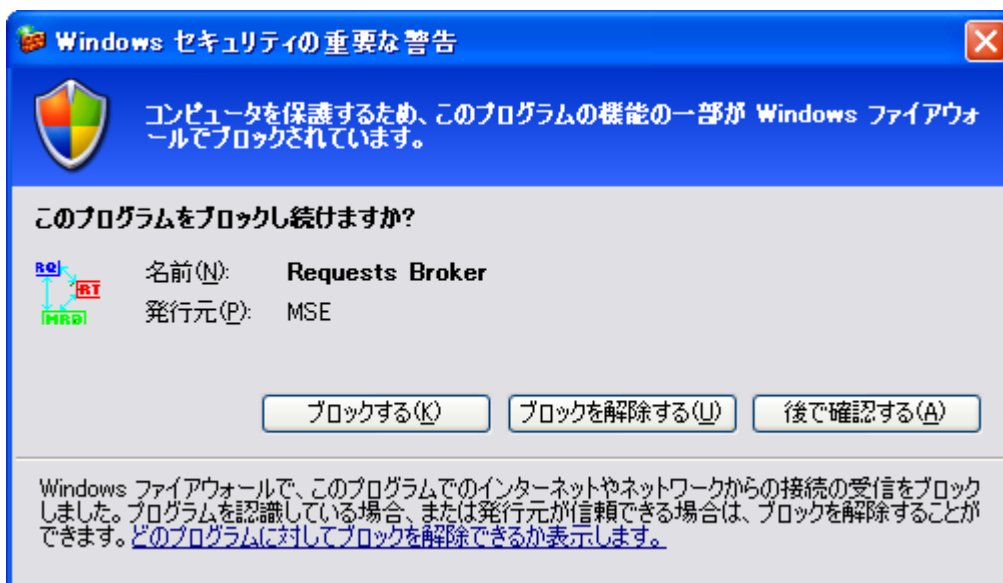
「アプリケーションサーバとして動作」が Yes の場合は、次のようにして、Magic のエンジンモジュール (eDeveloper では mggenw.exe、アプリケーションサーバでは mgrntw.exe) および Magic リクエストブローカを、「例外」リストに登録します。

A. Magic eDeveloper (開発版)の場合

1. スタートメニュー、あるいはデスクトップのアイコンから Magic eDeveloper V9Plus を起動すると、「Windows セキュリティの重要な警告」が出るので、「ブロックを解除する(U)」ボタンを押します。



2. 続けて「Requests Broker」についても「Windows セキュリティの重要な警告」が出るので、「ブロックを解除する(U)」ボタンを押します。



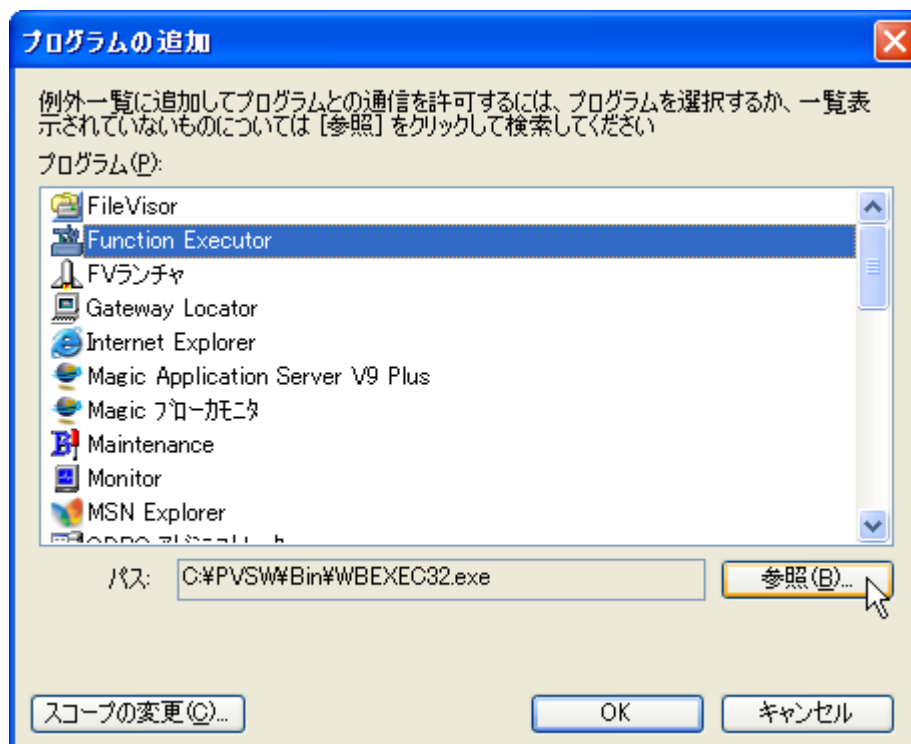
B. Magic Client (クライアント実行製品)の場合

Magic Client の場合には、Magic 実行モジュールを他のマシンからアクセスすることはないので、「Windows セキュリティの重要な警告」が出た場合に、「ブロックする (K)」を選んでください。

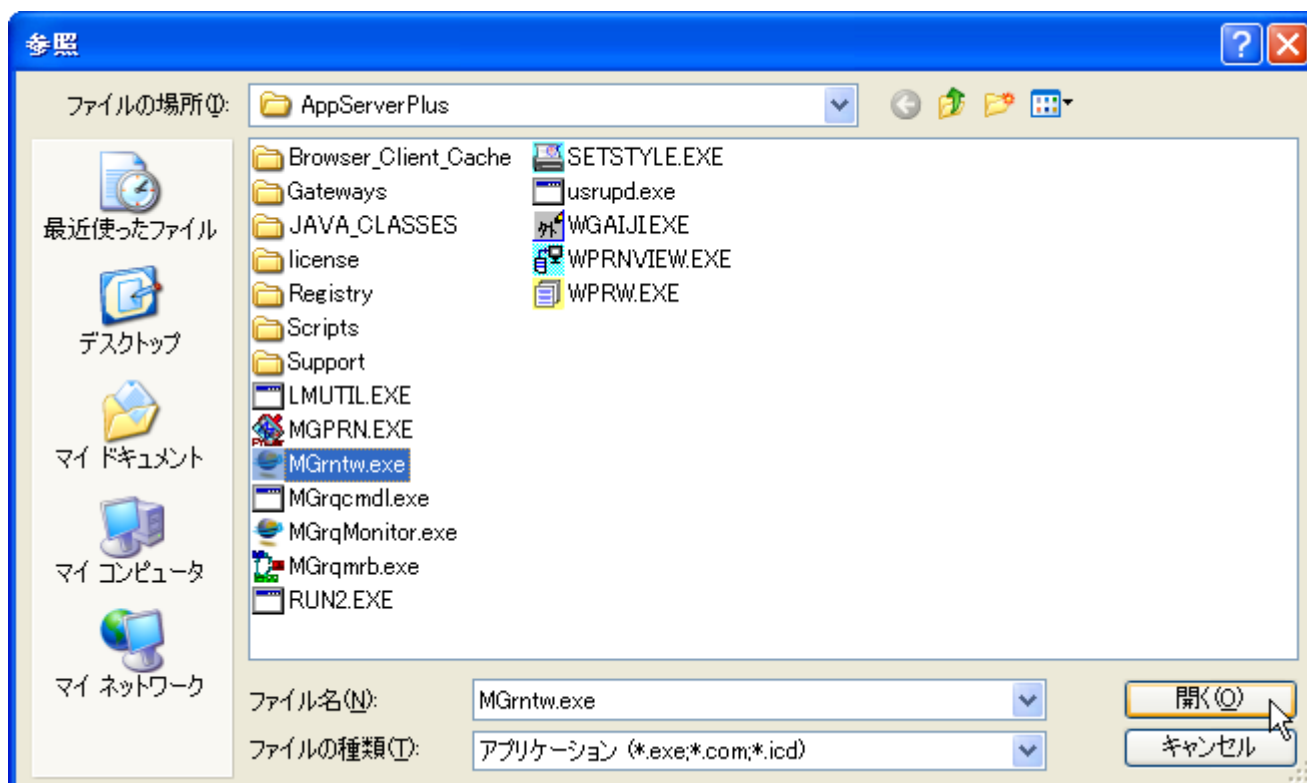
C. Magic Application Server (エンタープライズサーバ製品)の場合

Magic Application Server の場合には、アプリケーションサーバエンジン MGrntw.exe および Magic リクエストブローカ MGrqmr.exe を例外リストに登録する必要がありますが、開発製品の場合と異なり自動的に登録することができないので、「例外」タブから「プログラムの追加」により追加します。

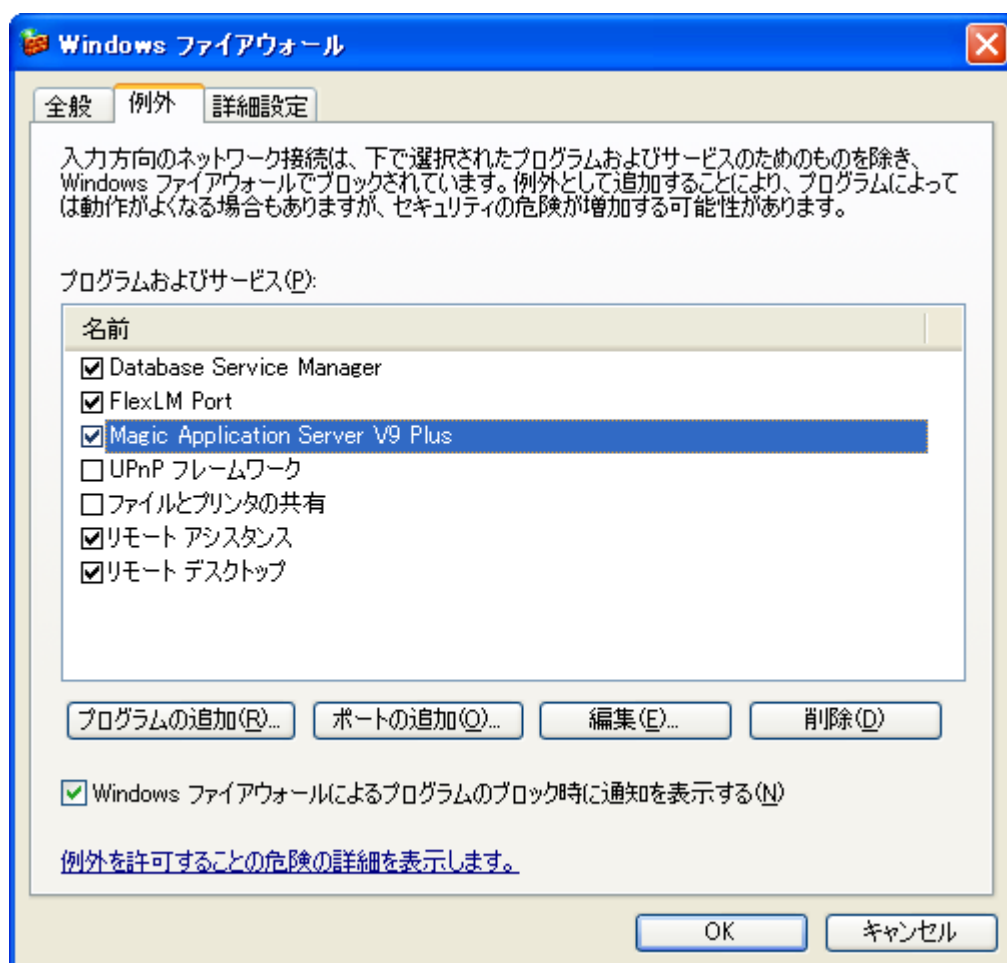
1. 「例外」タブを開きます。
2. 「プログラムの追加 (R)」ボタンを押すと、「プログラムの追加」ダイアログが開きます。



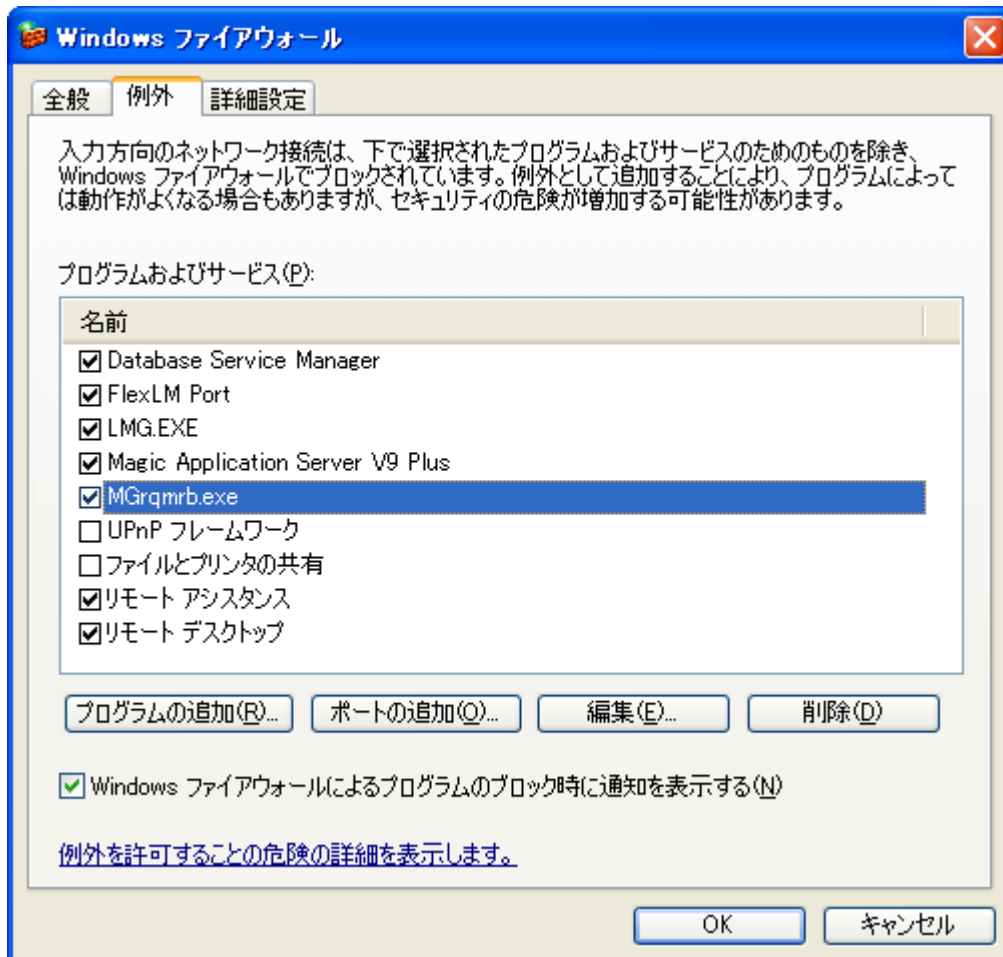
3. 「参照」ボタンを押して、Magic をインストールしたディレクトリに移り、MGntw.exe を選び、「開く」を押します。



4. 再度「OK」を押すと、例外リストに「Magic Application Server V9Plus」が追加されています。



5. 同様にして、Magic ディレクトリにある MGrqmr.exe も例外リストに登録してください。



以上で Windows ファイアウォールの設定は終了です。

まとめ

以上のことをまとめると、下図のように例外リストを作成することになります。(ここでは、インストール時のデフォルトのディレクトリでインストールした場合を例にプログラム名を示しています。インストール時に異なるディレクトリを指定した場合には、それに合わせてプログラム名のパスを変更してください)。

製品名	プログラム/ポート	備考
Pervasive データベースエンジン	C:\PVS\SW\Bin\W3DBSMGR.EXE	Pervasive ファイルを他から共有しない場合は不要。
FlexLM ライセンスサーバ	ポート 744	eDeveloper では不要。また、ライセンスを他から共有しない場合には不要。
	C:\FlexLM\LMG.EXE	
Web サーバ	(詳細設定 ネットワーク接続の設定 で設定する)	Client 製品では不要。
Magic エンジン	C:\Program Files\Magic\DeveloperPlus\MGgenw.exe および MGntw.exe	eDeveloper 製品の場合。
	C:\Program Files\Magic\AppServerPlus\MGntw.exe	Application Server 製品の場合。
Magic リクエストブローカ	C:\Program Files\Magic\DeveloperPlus\MGrqmr.exe	eDeveloper 製品の場合。
	C:\Program Files\Magic\AppServerPlus\MGrqmr.exe	Application Server 製品の場合。

以上